

平成28年度
新潟市しろね大凧と歴史の館
事業計画書

新潟市しろね大凧と歴史の館指定管理者
株式会社NK S コーポレーション新潟支店

目次

1. 施設運営方針.....	3
(ア) 施設運営に関する基本方針について.....	3
(イ) 観覧者等の集客推進に向けた計画について.....	4
(ウ) 経費の節減などの効率的な施設の管理運営方針について.....	5
(エ) 安定的な施設運営を実施する体制について.....	6
(オ) 観覧者等の平等・公平使用を確保する計画について.....	7
(カ) 施設の安全管理について.....	8
(キ) ボランティアスタッフや関係団体との連携について.....	9
(ク) 自主事業の詳細.....	10

(ア) 施設運営に関する基本方針について

① 経営理念

- 新しい発想と積極的なイベントで**新しい凧文化・新しい白根**を創造
- 地域の歴史と文化を**みんなの力**で保護・継承・普及

② 基本方針

1. 何度も来たくなる施設

飽きのこない展示、雰囲気づくりに努めます。

2. ムダ使いの無い施設

光熱水費、消耗品を抑えるとともに、再利用を心掛けます。

3. 凧と白根の博士がいる施設

各凧団体との連携をうまく行うことを最善に考えます。

4. 利用者第一の施設

お客さま1人1人を大切に、受付体制の変更がサービス低下へ繋がらないように努めます。

5. ルールを守る施設

法令遵守を徹底します。

6. 楽しく勉強できる施設

県内でも有数な凧作り、凧あげ体験の出来る施設であり、その魅力を最大限に引き出していきます。

7. 友達に自慢できる施設

楽しい凧作り体験をして貰い、友達にその面白さを広げ、凧を好きになって貰えるよう努めます。

(イ) 観覧者等の集客推進に向けた計画について

① 平成28年度 集客目標

目標総入館者数	19,000人
有料入館者数	10,500人
無料入館者数	8,500人
観覧料収入目標	3,519,000円 (≒10,500×@335円)

指定管理期間の5カ年で、経営理念にある『新しい風文化・新しい白根』、『みんなの力』、『未来像を描く』を実現すべく、平成28年度は、下記の3点に努める年とします。

- ✓ 既存事業の精査
- ✓ 新事業の積極的な実施
- ✓ 新ネットワーク、人材の発掘

② 集客対策

1. 市民参加型の新しい「タコ文化」創造事業

周囲の飲食店や各種団体に協力を仰ぎ、『風コン』『タコイカロビーコンサート』などを実施します。これにより、新しい「タコ文化」の創造に取り組みます。

2. 風ネットワークを利用した展示で魅力アップ

当館事務職員を始め、各種団体の方々からご意見を頂き、更なる魅力アップに努めます。

3. 観光ツアー（旅行代理店とタイアップ）

南区をはじめとした、新潟市には様々な観光資源があります。これをアピールできる観光ツアーを企画します。

4. 館外活動（所蔵品貸出、アウトリーチ）

まずは小学校、幼稚園などを中心に、館外に於いても、風の魅力に触れて知って貰える機会をつくります。

5. 広報宣伝活動（利用団体、関係団体を含む）

当館専用ホームページを開設し、広告宣伝媒体を築きます。また、各種団体とのタイアップを計画し、当館の近況（イベント状況、展示内容など）をお知らせします。

6. タコ割（市と協議）

実施を検討いたします。

(ウ) 経費の節減などの効率的な施設の管理運営方針について

① 人員経費の削減

サービス水準を保ちながら、適正な人員配置を行います。

従来的人员体制から、受付員を常時1名とします。但し、イベント時や団体等の対応時には、増員を図り十分なサービスが行われるように対応します。

② 施設維持管理経費の節減（環境保護の取り組み）

1. 無駄のない管理運営

長年当施設に携わってきた経験をもとに、計画的な維持管理を図り、コスト軽減に努めます。

2. 予防保全

日常・定期点検の徹底により、日々の異常に敏感に対応し大きな修繕を抑えることに努めます。

3. 事務のシステム化

報告、連絡書類をデジタルデータ管理し、重要書類以外の紙ベースを可能な限り減らします。

4. 節水

利用人員に応じて、細やかな元弁操作で節水します。

5. 仕入先・購入先の選択、調達ルートの一元化

備品、消耗品に関しては、品質と価格に信頼出来る株式会社アスパックから一括購入します。

6. 廃棄物発生量削減への取組

当施設内で発生する廃棄物については、5Rを徹底し、発生量の削減とリサイクルを進めます。

7. スタッフの節約意識で、省エネルギー

展示物、来館者に配慮した上で、適切な空調コントロールと、節電管理に努めます。

(エ) 安定的な施設運営を実施する体制について

① 必要人材の配置と人材育成の方策

1. 人員配置

役職	人員数	履歴・取得資格等	担当業務	雇用・勤務
名誉館長	1名	・風の有識者	施設運営への助言	顧問
館長	1名	・新潟市しろね大風と歴史の館館長経験者	総責任者 施設の統括、市・関係団体との連絡・調整 年間業務計画の立案及び履行状況の確認 予約調整、安全管理責任者、防火管理者 施設運営・安全維持管理、施設巡回 利用者への助言、指導、サービス(館内説明等) 苦情対応処理・地域連携	嘱託
副館長	1名	・中学校教諭一種免許取得者 ・高等学校教諭一種免許取得者 ・現新潟市しろね大風と歴史の館職員	館長業務のサポート 施設の統括、市・関係団体との連絡・調整 予約調整、安全管理責任者、防火管理者 施設運営・安全維持管理、施設巡回 利用者への助言、指導、サービス(館内説明等)	正社員
事業担当	1名	・学芸員資格所得者 ・文化活動に精通した者	施設運営・安全維持管理、施設巡回 PR活動担当	正社員
事務担当	1名	・現新潟市しろね大風と歴史の館職員	施設運営・安全維持管理、施設巡回 経理事務担当 受付代務	臨時職員
受付案内員	2名	・現新潟市しろね大風と歴史の館受付員	各種サービス(受付・電話対応等) 利用者への助言、指導、サービス(館内説明等)	パート パート

2. 人材育成方針

当館を適切に管理し、全スタッフの能力を一定レベルに保つため、下記の項目に沿った研修を実施します。

- ✓ **基礎知識** [1. 引継ぎ前準備、2. 法律基礎知識・コンプライアンス、3. リーダーシップ、4. おもてなし]
- ✓ **安全性・公共性** [5. 危機管理・防犯防災訓練、6. 防災予防講習 (AED 講習含む)、7. メンタルヘルス・マインドアップ、8. 職員ミーティング (OJT)]
- ✓ **専門性** [9. 文化プログラム、10. 文化施設維持管理]

② 専門知識を有する人材、及び、地域の人材の活用

長年の経験を有する当館スタッフを始め、各関係者団体との連携を密にとります。そして、学校教育への支援、歴史資料等の展示、風の収集・保管・展示等に努めます。

(オ) 観覧者等の平等・公平使用を確保する計画について

① 障がい者や高齢者などへの配慮

1. 状況の把握と、情報を共有

スタッフ一同情報共有をしっかりと行い、皆さまが平等に安全・安心に観覧できるように心がけます。

2. 注意深く館内を巡回

原則1時間ごとの巡回を実施します。トラブルや事故の早期発見・対応に努めます。

3. ユニバーサルデザイン

当館は展示物が多く、狭まっている所が数カ所あります。安全に観覧できるように展示スペースレイアウトを検討します。

4. アウトリーチ

当館に足を運ばない方々の為に、老人福祉施設や、障がい者施設へのアウトリーチも検討します。

5. 避難方法の確立

非常時の避難方法を確立します。

② 関係団体が施設を使用するに当たり平等・公平な取扱い方針

1. 関係団体との平等・公平な連携

関係団体、観光協会、他市町村の夙関係団体、学校、夙愛好会などと連携をとり、関係規則に従い不平等・不公平なく当館を利用し、互いに発展出来るよう心がけます。

2. 平等利用の徹底

夙工房、会議室、3Dルーム、特別展示室（休息室）、駐車場、屋外植栽スペースなど、利用希望団体が重複する場合には、利用調整に関する要綱にもとづき、関係各位と十分な相談の上で、特定の団体を優遇するなど不公平にならないように、平等利用を徹底します。

(カ) 施設の安全管理について

① 観覧者等が、安心・安全に観覧出来るような方策

1. 情報収集と巡回

「施設点検チェックシート」の活用で、不審者（物）、危険物（箇所）の早期発見に努めます。

2. 万全な職員研修（AEDを含む）

研修と訓練を積み、緊急時に備えます。

3. 風づくり・風揚げの際の安全

子どもたちによる風づくり・風揚げのリクエストが多い施設です。道具や環境の安全管理を日々徹底します。

② 緊急時に即応した指示命令系統

別紙参照 【緊急連絡体制図】

③ 展示品の盗難防止等の警備体制

定期的な巡回を徹底します。また、管理台帳の更新も怠ることなく実施します。

(キ) ボランティアスタッフや関係団体との連携について

① ボランティアスタッフの活用と育成方針

現在、当館に協力頂いている関係団体を中心に「凧ボランティア」「語り部ボランティア」「地域交流ボランティア」を募り、当館の運営支援や、自主事業への協力体制を築いていきます。

② 利用団体や関係団体との連携、問合せ・苦情対応

1. 地域団体

地域の交流拠点として「いつでも、誰でも、気軽に」利用して頂く為に、各関連団体との連携を密にとり、円滑に施設運営していきます。

2. 利用団体

今までの利用団体との良好な関係を築きます。また、新たな団体に関しましても、可能な限り要望に応え良好な関係を築いていきます。

3. 学校

学校教育における歴史学習や総合学習に対し、必要に応じた最大限の貢献が出来るようにします。

4. 新潟市

「にいがた未来ビジョン」に則り、担当部局と連携し、1人ひとりが大切にされる施設づくりを進めます。

5. 連絡会の開催と問合せ・苦情等への対応

年1回「多幸凧連絡会（仮称）」を開催し、利用団体や関係団体の意見に耳を傾け、現状やニーズの把握とサービス向上に生かします。

(ク) 自主事業の詳細

区分 (経営理念)	名称	回数 会場	対象	目的	内容
新しい風文化・白根	しろねカップ リンパパー ティー	1回/年 当館内外、 市内飲食店	18歳以上	白根地区出身の若者に、 大風以外にも風の思い出 を作ってもらおう	『にいがた出会いサポート事業』と協力・連携して、南区の婚活イベントを提案。南区 の魅力を内外にアピールするイベントとし、南区との共催を検討中
新しい風文化・白根	タコ・イカ グ ルメ イベント	1回/年 当館内外	制限なし	来館者数の増加。風以外 の利用方法の提案	南区特産(フルーツ)に代表される特産物をお題にしたグルメイベントの開催。地域の イベントとの同時開催で来場者数増加をめざす。
新しい風文化・白根	タコイカロ ビーコン サート	1回/年 当館内外	制限なし	来館者数の増加。風以外 の利用方法の提案	市内の市民音楽愛好団体や区内小中高の吹奏楽部などとタイアップしての開催を 目指す。、当施設で開催。気軽に普段着で聴きに行けるミニコンサート。
みんなの力	意見交換会	当館内外	市内小中学生	管の活用方法などを地域 の若い世代から意見を聞 く。	
みんなの力	観光ツアー	検討 当館、 市内各施設	制限なし	新潟市の観光施設と共に、 南区の観光施設へ集客	ふるさと村、市役所、近隣の旅行代理店(山形交通、福島交通、タビックス等)に働 きかけ、白根地区(白根グレイブガーデン、笹川邸、仏壇、しほり染など)、新潟市 (岩室、水族館、アグリパーク、石油の里)と共に観光ツアー実施。可能ならば当館イ ベント日と合わせます。さらに、老人福祉施設や障がい者施設へ積極的に出向き、 日帰り遠足のルートに組み入れていただく。
みんなの力	アウトリーチ	4回/年 各施設	学校、 幼稚園、 老人施設、 障がい者施設 など	風の魅力、白根の歴史の 面白さを、積極的にアピ ール	名人やボランティアが風作りや風揚げの指導をし、また、語り部が白根の歴史を伝 える。当館の重要な所蔵品について知ってもらうことで、来館者増加に結び付ける。

来館者数維持を目的とする提案	
多幸凧連絡会(仮称)	凧トピアなどの凧関連ボランティア団体との連携を強化し、凧愛好家の発掘、各大凧組・巻凧組の方々とも出来る限り連携し、館の有効利用とイベントへの協力をお願いする。
運営連絡会議	南区・NKSによる連絡会議を一月に一回程度開催し、全ての事柄、問題点などについて、敏速に対応して、来館者の満足度を高めていく努力をする。
館内外の整理整頓とレイアウト等の見直し	入り口から、館内展示物に至るまで徹底して整理整頓を行い、必要に応じて、館内備品・什器の配置等も見直し、より開放的で清潔感にあふれ、明るい会館を目指して行く。
サービス	来館者に対するサービスの統一をはかる為サービスマニュアルを作成する。同時にガイドマニュアルも作成し、職員全体のレベルアップに努める。
情報発信	ホームページのリニューアルと、周辺観光施設との情報共有を強化。館の情報に限らず近隣施設の情報も発信することで、当館の魅力を紹介する。
情報発信	近隣の温泉地への積極的な情報発信で、当館の紹介を行い、コラボレーション企画の可能性を追求し、実現に向けて協議・検討をする。

特別展示事業については下記の通り

白根大凧合戦ポスター展	新規	4月9日(土)	～	5月1日(日)
平成27年度白根大凧合戦写真コンテスト入選作品・ミニ六角凧展		5月21日(土)	～	6月12日(日)
寄贈凧展	新規	7月2日(土)	～	7月24日(日)
簡単に作れる「創作凧」展		8月1日(土)	～	8月28日(日)
凧版画展	新規	9月3日(土)		9月19日(月)
平成28年白根大凧合戦写真コンテスト入選作品展		9月24日(土)	～	10月16日(日)
干支凧と切り絵(袴紙)展		12月5日(土)	～	12月20日(日)
保育園、幼稚園児のちびっこ凧絵展	一回目	1月10日(土)	～	1月24日(日)
	二回目	1月30日(土)	～	2月14日(日)
	三回目	2月20日(土)	～	3月6日(日)
夏休み親子凧作り教室		8月7日(日)		8月21日(日)